

大月市立小中学校耐震診断結果
【平成23年4月現在】

地震防災対策特別措置法第6条の2第2項の
規定に基づき耐震診断の結果を公表します

大月市教育委員会

大月市立小中学校耐震診断結果

[平成23年4月現在]

学校名	棟番号	枝番号	建物区分	構造区分	階数	建築年月	経過年数	面積(m ²)	耐震基準	耐震診断結果(最小値)			耐震化計画等
										年度	Is値	q値	
初狩小学校	8	1	校	R	3	S48.3	38	1,028	旧	S56	0.60		移転による未使用化[H26年度未予定]
	8	2	校	R	3	S49.3	37	1,056	旧	S56	0.60		移転による未使用化[H26年度未予定]
	12		校	R	3	S52.2	34	193	旧	S56	0.60		移転による未使用化[H26年度未予定]
	16		屋	S	1	H1.2	22	825	新				
大月東小学校	5	1	校	R	3	S42.3	44	1,551	旧	S56	0.52		改築による耐震化[H26・27年度予定]
	5	2	校	R	3	S47.3	39	193	旧	S56	0.36		改築による耐震化[H26・27年度予定]
	14		校	R	3	S60.3	26	2,773	新				
	15		校	R	3	S60.3	26	77	新				
	8		屋	S	1	S44.9	41	806	旧	H17	0.43	0.74	改築による耐震化[H26・27年度予定]
大月西小学校	9		校	R	3	H9.8	13	2,151	新				
	7		屋	S	1	S52.2	34	559	旧	H16	0.59	1.80	統合による未使用化[H27年度未予定]
七保小学校	1	1	校	R	3	S50.3	36	1,315	旧	H14	0.77		耐震改修済[H14年度]
	1	2	校	R	3	S50.6	35	686	旧	H14	0.77		耐震改修済[H14年度]
	1	3	校	R	2	H15.3	8	423	新				
	6		屋	S	2	H23.3	0	653	新				
下和田小学校	11		校	R	3	S53.3	33	1,671	旧	H15	0.72		統合による未使用化[H23年度未予定]
	13		屋	S	1	S54.3	32	559	旧	H16	0.44	1.35	統合による未使用化[H23年度未予定]
強瀬小学校	1		校	R	3	S54.3	32	1,356	旧	H15	0.50		統合による未使用化[H27年度未予定]
	4	1	校	S	2	H8.3	15	187	新				
	4	2	校	S	2	H8.11	14	161	新				
	2		屋	S	1	S54.7	31	560	旧	H16	0.50	0.71	統合による未使用化[H27年度未予定]
猿橋小学校	7		校	R	2	H18.10	4	4,837	新				
	8		屋	S	1	H20.10	2	1,005	新				
鳥沢小学校	14		校	R	3	S61.3	25	2,980	新				
	16		屋	S	1	H22.3	1	870	新				
大月第一中学校	1		校	R	3	S62.3	24	2,049	新				
	2		屋	S	1	S62.3	24	854	新				
大月東中学校	1	1	校	R	3	S37.3	49	1,315	旧	S56	0.47		耐震改修若しくは改築による耐震化[H24・25年度予定]
	1	2	校	R	3	S38.3	48	686	旧	S56	0.47		耐震改修若しくは改築による耐震化[H24・25年度予定]
	1	3	校	R	3	S39.3	47	423	旧	S56	0.46		耐震改修若しくは改築による耐震化[H24・25年度予定]
	12		屋	S	1	H2.3	21	1,384	新				
猿橋中学校	12		校	R	4	H11.11	11	2,794	新				
	13		校	R	4	H11.11	11	409	新				
	14		校	R	5	H11.11	11	944	新				
	15		校	R	3	H11.11	11	1,244	新				
	16		屋	S	1	H13.7	9	1,138	新				
富浜中学校	1		校	R	3	S57.3	29	2,266	新				
	2		屋	S	1	S58.3	28	699	新				

凡例 耐震改修若しくは改築が必要な建物

耐震診断未実施の建物

【用語解説】

棟・枝番号 ... 公立学校施設台帳上の番号となります。

建物区分 ... 「校」は校舎、「屋」は屋内運動場の建物となります。

構造区分 ... 「R」は鉄筋コンクリート造、「S」は鉄骨造、「W」は木造の建物となります。

耐震基準 ... 「旧」は旧耐震基準、「新」は新耐震基準の建物となります。

昭和56年の建築基準法(施行令)の改正により、現行の新耐震基準が施行されました。

新耐震基準の建物は大規模な地震(一般的に震度6強程度)でも建物が倒壊しない耐震性能となっています。

昭和56年以降に建築確認を受けた建物に対して新耐震基準が適用されています。

耐震診断 ... 耐震診断は、新耐震基準施行以前の建物について、地震に対する安全性を構造力学上診断するものです。

対象建物 ... 地震防災対策特別措置法の規定により次のうち旧耐震基準で設計された建物となります。
非木造...2階建て以上、または、延べ床面積200m²を超える建物

木造...3階建て以上、または、延べ床面積500m²を超える建物

Is値 ... Is値とは、建物の耐震性能を示す構造耐震指標で、国土交通省の「建築物の耐震改修の促進に関する法律における技術的指針」ではIs値0.6以上で耐震性能を満たすとされていますが、文部科学省では学校施設についてその用途や重要性等を考慮し、耐震改修の目安をIs値で0.7以上としています。

構造耐震指標とは、建物の強度や粘りに加え、その形状や経年変化等の状況を考慮して算出される値をいいます。

q値 ... q値とは、保有水平耐力に係る指標で、1.0以上で耐震性能を満たすとされています。

保有水平耐力とは、建物が地震による水平方向の力に対して対応する強さをいい、各階の柱、耐力壁及び筋かいが負担する水平せん断力の和として算出される値をいいます。

参 考

建築物の耐震改修の促進に関する法律における技術的指針(平成18年1月25日国土交通省告示第184号)

構造耐震指標及び保有水平耐力に係る指標	構造耐力上主要な部分の地震に対す安全性
Is値 < 0.3 または q 値 < 0.5	大規模な地震の震動及び衝撃に対して倒壊または崩壊する危険性が高い
0.3 Is値 < 0.6 または 0.5 q 値 < 1.0	大規模な地震の震動及び衝撃に対して倒壊または崩壊する危険性がある
0.6 Is値 または 1.0 q 値	大規模な地震の震動及び衝撃に対して倒壊または崩壊する危険性が低い